

那覇署主催「秋の交通安全運動開始式」で交通安全啓発

～飲酒運転根絶や高齢者事故防止等に関し、街頭活動で呼びかけ～

日本損害保険協会沖縄支部（委員長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、9月19日（木）にパレットくもじ前交通広場（那覇市）で開催された、秋の交通安全運動開始式に参加し、その後、飲酒運転根絶や高齢者交通事故防止に関する周知啓発のため、街頭活動に参加し、市民の方々に呼びかけました。

開始式では、沖縄県警察那覇警察署 知念 克幸 署長から「那覇署管内では、8月末までに人身事故が約300件、飲酒がらみの人身事故が11件発生している。飲酒運転や、歩行者妨害の取り締まりを継続する。」と挨拶があり、飲酒運転根絶等に関する交通安全宣言が行われました。

式典終了後、沖縄支部では、那覇警察署や那覇地区交通安全協会とともに、歩行者にチラシ等を配付し、「反射材の着用の重要性」や「STOP!! 飲酒運転」等を直接呼びかけました。

沖縄支部では、那覇警察署をはじめとする、沖縄県警察や関係機関とともに、交通事故防止の啓発等を通じて、地域の安全・安心向上に資する活動を実施して参ります。



知念那覇警察署長の挨拶



交通安全運動呼びかけの様子



街頭活動の様子



配布した啓発物